

東三河 地域研究

平成29年11月16日発行

編集・発行：

公益社団法人東三河地域研究センター

住所／豊橋市駅前大通3丁目53番地

(太陽生命豊橋ビル2階)

TEL／0532-21-6647

FAX／0532-57-3780

通巻146号 2017.9.26

設楽町・国土交通省設楽ダム工事事務所・東三河地域研究センター合同企画

『設楽ダム建設見学観光ツアー2017』..... 2-13

【主な視察先】

道の駅等建設予定地(設楽町清崎)

設楽ダム水没予定地(設楽町八橋)

付替道路設楽根羽線の工事現場(設楽町小松)

豊橋鉄道田口線三河田口駅跡地(設楽町田口)、等

設楽ダム建設事業等の説明(設楽町役場)

資材搬入路(設楽町川向)

ダムサイト建設地(設楽町清崎)



ダムサイト建設地



付替道路設楽根羽線の工事現場



道の駅等建設予定地



みのや旅館(昼食)

『設楽ダム建設見学観光ツアー2017』

1. 視察の概要

平成 29 年 9 月 26 日（火）に、東三河地域の新しい水資源となる設楽ダム建設事業及び周辺整備事業について、設楽ダムの水資源を享受する東三河地域住民等が理解を深め、住民一人一人が設楽ダムや設楽町を地域内外にPRする等、上流部の設楽町の地域活性化に繋げる活動に展開してもらうために、「道の駅等建設現場、設楽町役場（設楽町清崎、田口）」、



図1 視察会メンバー(付替道路設楽根羽線2号橋にて)

「設楽ダム水没予定地（設楽町八橋）」、「設楽ダム付替道路工事現場等（設楽町小松）」、「設楽ダムダムサイト工事現場（設楽町清崎）」等の視察を、41名の参加者によって実施した。

2. 設楽ダム建設事業及び周辺整備事業の説明
(設楽町役場)

(1) 挨拶

設楽町長
横山 光明 氏



設楽町長の横山です。このたびは、大勢の方に設楽町にお越しいただき感謝申し上げます。

設楽町は設楽ダムの建設により、ここに至るまで長い年月がかかりましたが、すでに住んでいた方も新しいところに移住されている状況です。

現在、設楽町の人口はダムがあるからということではありませんが、人口減少が厳しい状況で、60年前に設楽町という町ができた時は1万3千人でしたが、今年の9月1日現在では4,998人と、ついに5千人を割ってきました。そうした中、町の将来を存続していくためにどういう町にするのか、生活をしていく人にとってどういう町にすればいいかを、町民と一緒に街づくりにとりくんでいかなければなりません。しかし設楽町を展望したときに既存産業の農業だけで生活ができるとは考えにくいので、新しい視点として観光という部分をこれからの重要な産業として、町の人たちが作り上げていくことが重要と考えています。今後、設楽町では、新しい観光資源を創出して、多くの人たちに十分みてもらえて、楽しんでもらえるように作り上げていくことが重要で、そこに設楽ダムという水源ができますので、これを重要なポイントとして、新しい観光振興に位置付けていきたいと考えています。

当面設楽町では、清崎地区に道の駅をつくり、地

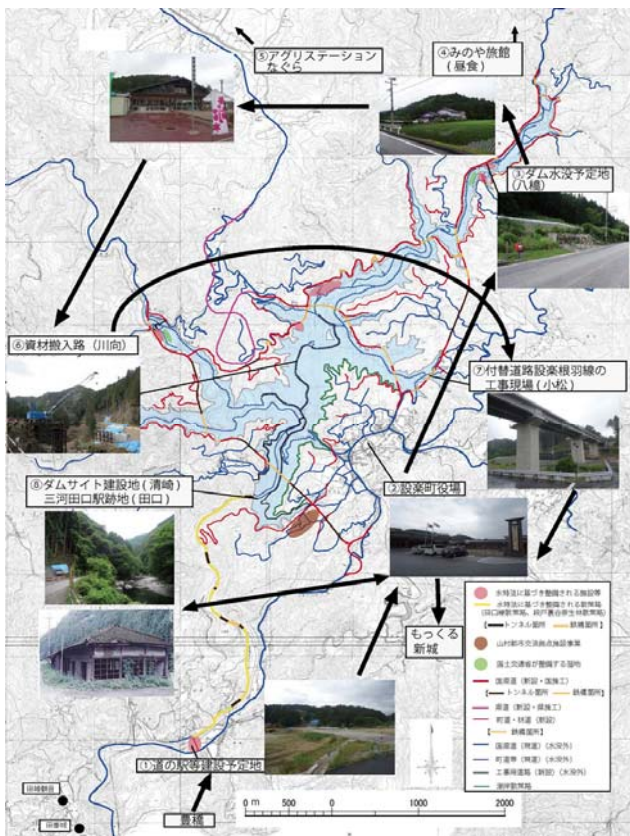


図2 視察先ルート

場産の野菜なども提供できるように作っていきたいと考えています。さらに、奥三河郷土館を道の駅に移して、設楽町の文化歴史をみてもらいます。そして将来的には、道の駅から「鮎美橋」を渡って対岸まで行き、そこから上流に向かうとダムサイトまで続く田口線跡地があるので、そこで散歩したりサイクリングしながら高さ 129mのダムサイトまできて、そこから管理用エレベーターで昇ると、ダム湖が出現するロケーションができます。そしてダムサイトの近くには新しい道路やダム湖で交流できる施設などのゾーンを作り、それを軸とした新しい街づくりを築き上げていくことが大事と考えています。

下流の人たち、上流の設楽町の人たち、そして東三河全体の人たちの新しい街づくりを進めていくことが必要と考えています。



図3 設楽町役場議場での説明の様子

(2) 事業等の説明

設楽町
企画ダム対策課長
澤田 周蔵 氏



企画ダム対策課長の澤田と申します。本日はダム事業の経緯、ダムで影響する地域、ダム湖周辺の整備の3つについてお話しします。図4は設楽町の川向地区のしだれ桃で、数年前まではここで「しだれ桃の里まつり」が開催されており、期間中は観光客でにぎわっていましたが、今は行われておらず、

しだれ桃がしっとりと咲いている状態です。川向のしだれ桃は地域の方が植えたものであり地域の力が大事と考えています。「しだれ桃の里まつり」は、昨年からは同じく地域の方が植えた名倉のコヒガン桜の春祭りと一緒に開催されています。



図4 川向地区のしだれ桃

設楽町は、南は新城市、西は豊田市、東は東栄町、豊根村、北は長野県根羽村に隣接しています。面積は247平方kmで、県内では豊田市、新城市、岡崎市、名古屋市に次いで5番目の広さです。人口は5千人を割っており、65歳以上の高齢者は48%以上、75歳以上の高齢者は全体3割を占めています。設楽町の特徴は、標高差が大きく、清崎地区は標高250m、田口地区は450m、津具地区は650、名倉地区は650m、段戸湖山やきららの森は900mくらいであり、そこに住民が点在しています。さらに水系は豊川、矢作川、天竜川に分かれており、水系によって祭りなども異なっているところもあります。現在、人口減少を食い止めるために町内4地区に移住定住促進協議会が設置され、移住者の呼び込みを図っています。

設楽ダムは、田口地区の右横にダムサイトが作られ、北にダム湖が広がるイメージです。設楽ダムの進捗状況ですが、124世帯の方が移転されており、その地域をみると、本日見ていただく八橋地区で49世帯

地区名	水没世帯	道路移転世帯	少数残存世帯	移転世帯合計
八橋	42	4	3	49
川向	15	5	10	30
大名倉	16	4	2	22
松戸	2	0	0	2
小松	12	0	0	12
田口	8	1	0	9
合計	95	14	15	124

平成20年10月 現在

図5 設楽ダムに影響する地域とその内容

帯、川向地区で30世帯が移転しているほか、大名倉地区で22世帯、松戸地区で2世帯、小松地区で12世帯、田口地区で9世帯となっています。

八橋地区はお茶の栽培が盛んな地域でお茶の工場がありました。また中日新聞に毎年掲載される八橋ウバヒガン桜があり、ここに住んでいた方が会を開催し、昔を懐かしんでもらったり、年数回手入れや草刈りをしています。ここについては町が公園整備を進める計画をしています。また、現在田口から八橋まで、大型バスが対面通行できない場所がいくつかあり、国土交通省が整備している付替道路を期待しています。



図6 八橋地区の一部

川向地区は国道257号にある設楽大橋の西側に集落の入り口があり、しだれ桃の里が広がっていました。川向地区にある国道257号や設楽大橋、主要地方道設楽根羽線はダムに水没するので、付替道路が整備されます。また、名倉地区から川向地区までの国道257号も愛知県がバイパス道路を建設する計画

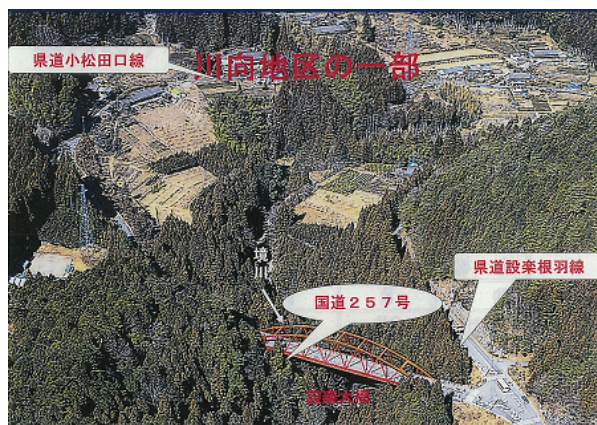


図7 川向地区の一部

になっています。川向地区も町が公園整備をする計画にしており、しだれ桃も移植する予定です。しだれ桃は種から育てて、それを植えてDNAを引き継ぐ形にしたいと考えています。

大名倉地区は大名倉遺跡があり、町が大名倉公園を整備する計画になっています。この地区は、ブナの原生林がある段戸裏谷原生林きららの森につながっており、東海自然歩道や散策路が整備されており、ウォーキングやバードウォッチングなど四季折々の景色がみられます。きららの森は現在大型バスでは豊田市足助からしか来れませんが、今後、主要地方道瀬戸設楽線の付替道路が整備されることから、この付替道路ができれば田口から大名倉を通ってきららの森に大型バスでいくことができます。町ではきららの森にビジターセンターを作り、多くのお客様に来ていただくよう計画をしています。

図8にダムインパクトビジョンの実現に向けてとありますが、設楽町の将来の街づくりは、ダム建設を一つの起爆とした周辺整備事業を将来の視点に取り入れていきます。歴史民俗資料館や道の駅の整備、ダム湖周辺での公園整備、きららの森の整備、ダムサイト付近では豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市の5市が行う山村都市交流拠点施設の整備を位置付けています。また、各観光拠点を結ぶために、清崎の道の駅からダムサイトを結ぶ旧田口線を活用した散策路の整備や、ダム湖周辺にあるスギ・ヒノキを広葉樹に代える事業を位置付けています。

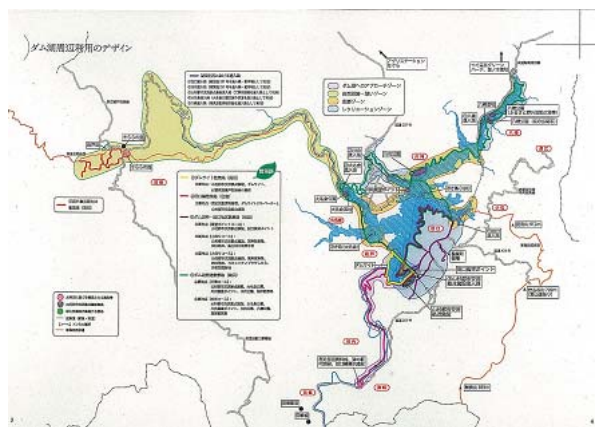


図8 ダムインパクトビジョンの実現に向けて 設楽ダム周辺整備基本方針及び基本計画

先日、岐阜県恵那市の小里川ダムを訪問し、近くには道の駅があり、日本一の水車などがありました。道の駅の設置の目的は、高齢者に優しいまちづくり、地域の活性化、交流人口の増加、特産品の開発などで、平日にも関わらず若いカップルが大勢いるなど、地域に開かれた先進的なダムの取り組みを視察しました。設楽町もこうした取り組みをしないといけないと感じました。

最後に設楽ダムの建設が、将来の東三河地域に直接大きく影響すると思いますので、設楽ダムへの認識を高めていただき、上下流の皆さんでより良い方向にいければと考えていますので、よろしくお願いします。

国土交通省
中部地方整備局
設楽ダム工事事務所 所長
岩崎 等 氏



国土交通省設楽ダム工事事務所長の岩崎です。日頃より設楽ダム建設事業に多大なるご理解ご支援をいただき感謝申し上げます。また設楽ダム建設見学ツアーで工事現場を見ていただけることについて重ねて感謝申し上げます。まだダム本体の工事はこれからですが、転流工事にも着工し本格化してきますので、今時点の現場を見て今後設楽ダムが変化する様子を感じていただければと思います。

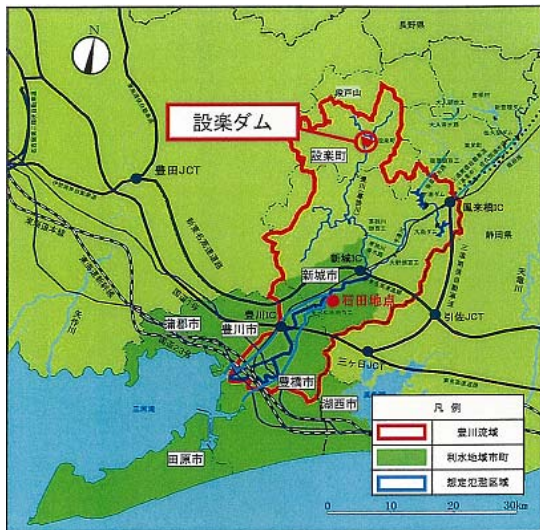


図9 豊川流域の概要

豊川流域の概要をご説明します。豊川は、設楽町の段戸山に発し三河湾まで流れる延長77kmの河川です。流域面積は724km²で、流域市町は約61万人の人が生活しており、この地域の産業・経済・文化の発展の基盤となってきました。

豊川では、これまでも堤防の決壊などによって尊い人命や財産を失われてきました。過去から河川の改修工事を実施してきていますが、平成23年9月の台風で浸水被害がでていたなど、まだ十分ではありません。一方、近年でも渇水による取水制限が行われており、平成25年には7月から9月にかけて大規模な取水制限が行われましたし、昨年梅雨時期の雨量が少なく、毎年渇水の心配がでてきています。

そういう状況において、設楽ダムの役割として、
①「洪水調節をします」。大雨が降った際に一度に川に流れないように一度ダムで水をためて、川に流れる水を調整します。150年に1回の大洪水が来た場合でも、新城市内の基準地点（石田地点）において約1m水位を下げる効果があり、堤防が崩れるなどのリスクを低減できます。
②「川の流れを保ちます」。この地域は豊川用水で取水しており、川に流れる水量が乏しい時期が発生しています。そのため10年に1度くらいの割合でおこる渇水時に、ダムでためた水を流すことで川に常に一定量の水が流れ、生物に配慮した環境、景観を守ります。現在、宇連川に大野頭首工という取水施設がありますが、その下流は年間200日ほど水がない状態となっています。設楽ダムができれば、その箇所にも一定量の水を流すことができると考えています。
③「利用可能な水をつくります」。かんがい用水、水道用水を補給できるように新たな水を利用できるようにします。

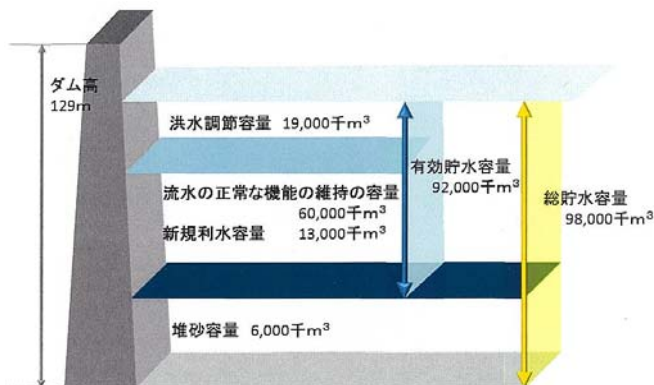


図10 設楽ダムの計画諸元

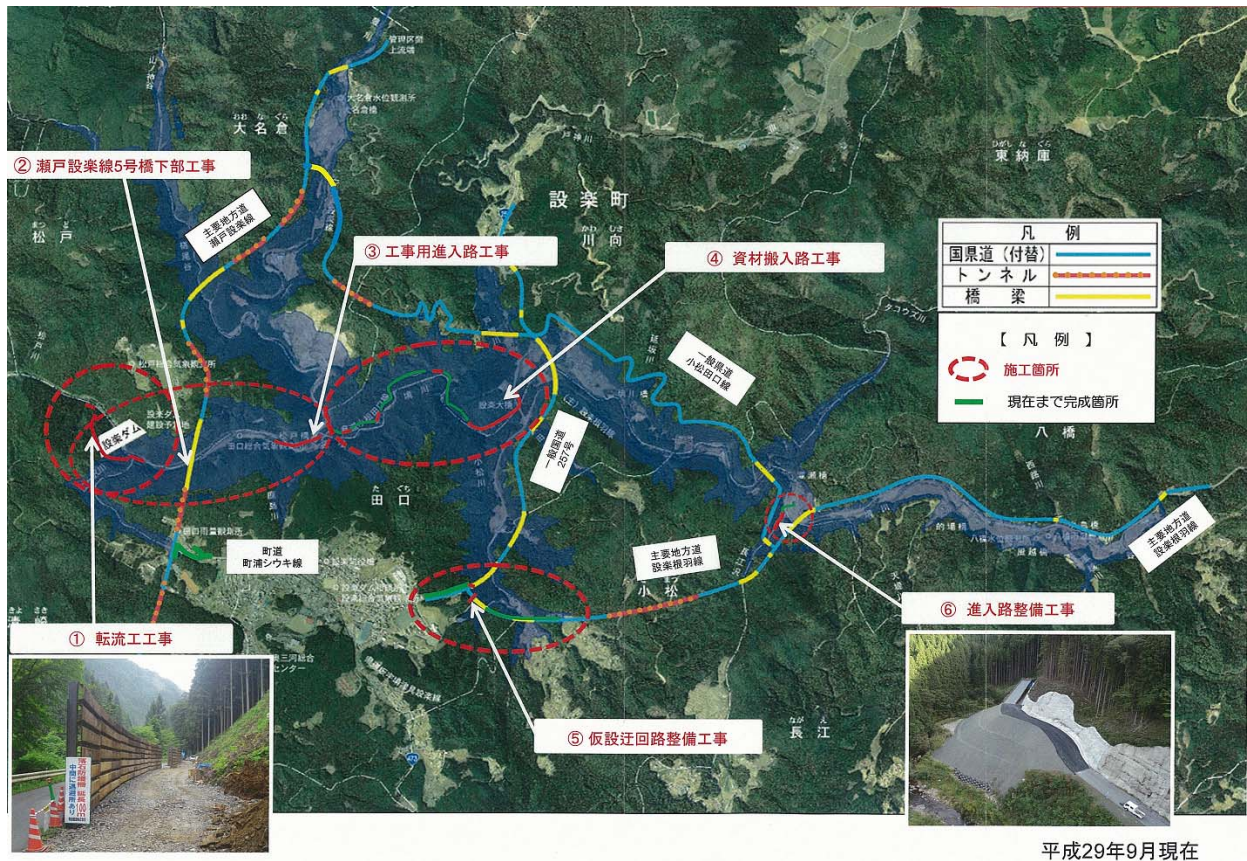


図 11 工事の進捗状況（付替道路等） ※今後の設計等により変更となる可能性があります

設楽ダムの計画諸元として、型式は重力式コンクリートで硬い岩盤の上にコンクリートの壁を作り水を堰き止めます。ダムの高さは約129mで、高層マンションでは36階くらいの高さです。総貯水容量は9800万 m^3 で、ナゴヤドームの58杯分の量になります。

設楽ダムの事業経緯として、昭和48年に愛知県が設楽町にダム計画について協力要請を示して、昭和53年に実施計画調査に着手したのがスタートです。その後、設楽町では様々な反対運動もありご負担をおかけしてきましたが、平成21年にダム建設同意の調印がなされました。その後、平成27年12月に124世帯すべての方と移転の契約を完了して、町内若しくは新城市内などで新しい生活をスタートしていただいています。そして工事に関しては、今までは付替道路など関連する部分の工事が多かったのですが、今年の6月にダム本体に直接かかわる転流工着工式を行いました。

本日視察していただく場所（図11）は、一つ目は川向地区の「④資材搬入路工事」です。同道路は重機が通るには幅員が狭いため、拡幅工事をしています。

二つ目は小松地区の「⑤仮設迂回路整備工事」で、主要地方道設楽根羽線を作るための工事用道路と一部橋梁を見ていただきます。三つ目は、「①転流工工事」について、設楽ダム建設地を見学いただきます。

今後、関連する工事が本格化していきますので、今後も見学する機会を設けていきたいと思っております。また、設楽町長から、ダムを契機とした地域振興という話がありましたが、国土交通省としても設楽町の地域振興にできるだけ協力していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

3. 道の駅等建設予定地（設楽町清崎）

設楽町
企画ダム対策課 主任主査
高橋 三郎 氏



設楽町の清崎地区では、（仮称）歴史民俗資料館と道の駅が建設されます。寒狭川を背に2つの建物と、

普通車 40 台、大型車が 4 台止まれる駐車場が作られます。この清崎地区は設楽町の南の玄関口になりますので、設楽町にくる方に設楽町をよく知っていただけるよう、設楽町の歴史を紹介させていただき観光スポットとして位置付けています。設楽町の場合、無形文化財が点在しており、清崎地区の近隣の田峯地区では田峰観音や田峯田楽、念仏踊り、奥に入った三都橋地区では参候祭、さらに北の津具には花祭りなどの伝統文化があります。そういうものを清崎地区で紹介して、実際に現地に行ってみたいと考えています。そのほか、道の駅では奥三河や設楽町の特産物を販売して、いろんな方にお越しいただくことを考えています。

(仮称) 歴史民俗資料館と道の駅の建物は、プロポーザルによってデザインが決まっており、屋根は後ろの設楽町の山並みに似たような形にしたり、外観は設楽町や奥三河の木を使った施設にして森林資源を活用します。(仮称) 歴史民俗資料館の延床面積は 2 千㎡の 2 階建てになり、2 階に展示室があり後ろを流れる寒狭川を眺めることができます。道の駅の延床面積は 860 ㎡の 2 階建てになります。そして、2 つの建物が一つの屋根でつながり、2 つの建物の間に屋根付きの屋外空間ができるので、雨天でもイベントができるようにしています。また、清崎地区は豊橋鉄道田口線が通っており、昭和 43 年に廃線となりましたが、その時の車両が現在田口の奥三河郷土館にあります。その車両を清崎地区の道の駅で展示して、ここから設楽町がはじまることを強くアピールしていきたいと思っています。この建物は正式な決



図 12 道の駅等のイメージパース

定ではありませんが、平成 32 年の春にはオープンできると考えています。

今後、設楽町ではダム建設に伴い、町中でもいろいろな工事が始まります。この道の駅も設楽町の振興策として、ダム観光の拠点施設にしたいと思いますので、ぜひみなさんにもお越しいただきたいと思っています。



図 13 道の駅等建設予定地の様子

4. 設楽ダム水没予定地（設楽町八橋）

設楽町

企画ダム対策課 課長補佐

遠山 雅浩 氏



現在、設楽町役場のある田口から八橋方面に向かっていますが、通行している国道 257 号や主要地方道設楽根羽線は水没し、道中にある設楽大橋や正木建設も水没します。主要地方道設楽根羽線は幅員が狭く、車の対面通行ができない箇所があり、長い間拡幅の要望がありましたが、現在付替道路が整備されつつあり、その問題も解消されることとなります。

主要地方道設楽根羽線の北方に八橋の集落があります。主要地方道設楽根羽線の東側に宇連川が流れていますが、道路と川の間には八橋小学校があり、木造校舎が立っていました。またその奥にウバヒガン桜が植えられています。反対側の西側には石垣がみえますが、昔は家が建っていました。また郵便ポストが残っていますが、当時からここにあったもので、

今でも投函することができます。また八橋のバス停もあり、まだバスで乗降できます。これらは、ここに集落があったことを残す数少ない証になります。



図 14 八橋地区に現存する郵便ポスト

5. 付替道路設楽根羽線の工事現場(設楽町小松)

国土交通省

中部地方整備局

設楽ダム工事事務所 副所長

武田 真吾 氏



設楽ダムでは、国道 257 号と主要地方道設楽根羽線、主要地方道瀬戸設楽線、一般県道小松田口線の国道道 4 本を国道道の付替道路として整備することになっています。現在、主要地方道設楽根羽線の整備が一番進んでおり、2号橋の上部工が完成しています。今後舗装やガードレールを設置して完成となります。



図 15 付替道路設楽根羽線 2号橋上部工の様子

付替道路主要地方道設楽根羽線は、付替道路国道 257 号と連結して、今後整備される 1 号橋を渡って 2 号橋に行き、そしてトンネルを通過して八橋方面にいきます。付替道路の高さは、サーチャージ水位 (150 年に 1 回の洪水の水位：444m)、ダム天端 (ダム堤体の一番上部：448m) よりも上の高さになります。

6. 豊橋鉄道田口線三河田口駅跡地(設楽町田口)

設楽町企画ダム対策課 課長補佐 遠山 雅浩 氏

奥三河郷土館学芸員

石井 峻人 氏

旧田口線終点・三河田口駅の駅舎があったところです。整備されて段差がはっきりとわかるようになっており、プラットフォームや線路のあった場所もわかります。田口線は災害や利用者の減少もあり、昭和 43 年に廃線となりましたが、線路跡の一部は今でも一般道として活用されています。

遺構は川側(写真左端)が線路跡、山側(写真右側)に駅舎の基礎が見えています。三河田口駅より上流に宮内省の管理していた段戸御料林(現国有林)があります。その木材を森林鉄道で輸送し、それを三河田口駅で田口線に付け替えて、更に本長篠駅で飯田線に付け替えて豊橋まで運んでいました。段戸の木材は江戸時代、江戸城二の丸の再建にも用材として使われています。三河田口駅の周りには倉庫があり、津具金山の金、田口鉱山のマンガンなどの鉱物や様々な貨物を仮置きして電車で運んでおり、貨物を積み替えるためのプラットフォームもありました。



図 16 豊橋鉄道田口線三河田口駅跡地の様子

清崎と田口市街地の間には 200mの高低差があることや御料林の木材搬出に供するために、寒狭川沿いに三河田口駅が設置されました。駅と田口の街まではバスで結ばれ、通学通勤に利用されました。

7. ダムサイト建設地（設楽町清崎）

国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所

副所長 武田 真吾 氏

設楽ダムのダム軸は旧田口線の第1トンネルの上流側出口付近になります。川から10m掘り下げて岩盤をむき出しにして、コンクリートを岩盤に密着させます。ダムの高さは129mになりますので、ダムの底は水圧が10kg/cm²くらいかかることになります。

転流工は、川の水を迂回させるトンネルと水の取り入れ口と吐き口を構築する工事です。豊川の左岸側にトンネルを作り、旧田口線の第1トンネルの少し上の沢の部分から水の取り入れ口を作ることになります。トンネルは直径6mくらいの大きさで、長さは435mです。水路になりますので、上流部分が高く下流部分が低くなります。トンネルを掘ると地下水が流れるので、下流から掘り始めることになり、現在、下流の水の吐き口部分での森林の伐採が終わったところです。

転流をした後は、基礎掘削に入ります。約100万m³の土砂を掘削して、岩盤をむき出しにして、モルタルを吹き付けます。そして打設工事の箇所毎にモルタルをはがしてコンクリートを岩盤に密着させます。スケジュールとしては、予算の都合もありますが、転流工は来年度まで実施し、その後掘削と打設工事に約5年かかり、最後に試験湛水に2年の予定となっています。現時点のダムの計画としては平成38年に完成予定ですので、試験湛水前までにダム本体の建設工事や付替道路などの工事が終了する予定で計画をたてています。



図17 ダムサイト建設地の様子（転流工 呑口部周辺）

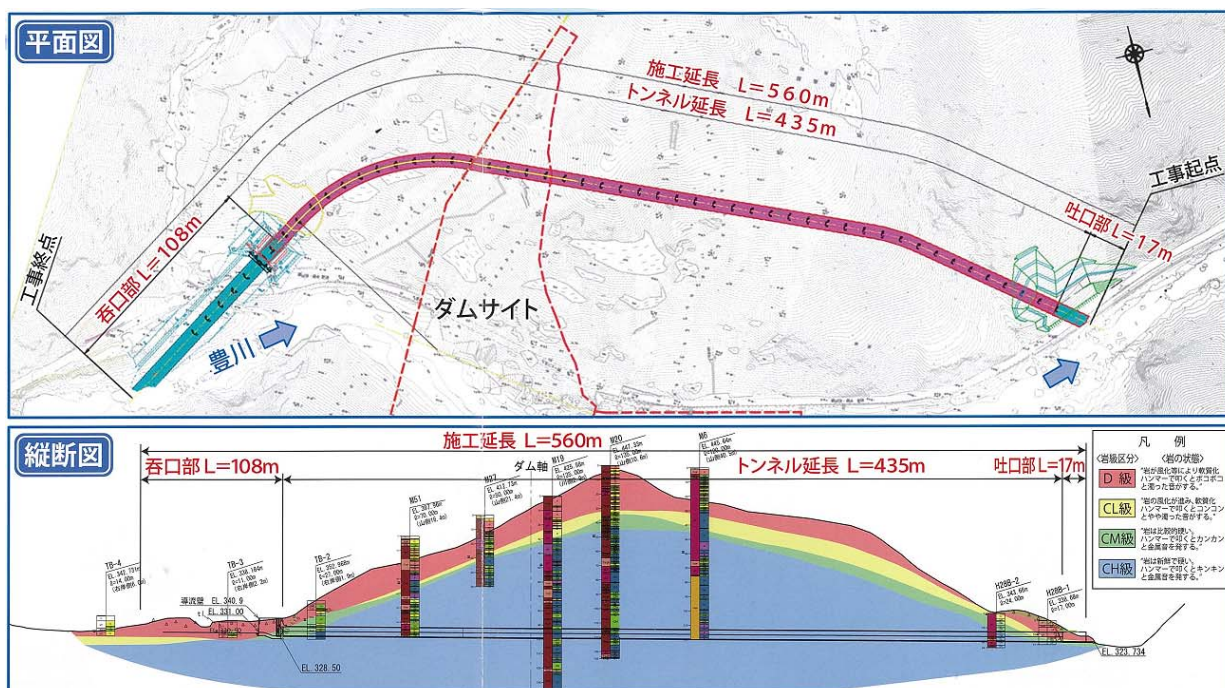


図18 設楽ダム転流工工事 概要図

(出所：平成28年度設楽ダム転流工工事（飛鳥建設株）)

8. 参加者アンケート結果

- ・配布数：36通（事務局を除く参加者全員）
- ・調査日：平成29年9月26日（火）
- ・調査方法：当日配布、当日回収
- ・回収数：34通
- ・回収率：94.4%

No.	項目	回答数	%
1	20歳未満	0	0.0
2	20歳代	1	2.9
3	30歳代	4	11.8
4	40歳代	0	0.0
5	50歳代	7	20.6
6	60歳代	14	41.2
7	70歳代以上	8	23.5
	無回答	0	0.0
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q1 あなたのお住まいはどちらですか。

参加者の住まいをみると、すべて愛知県三河地域内から参加をいただいております、東三河地域30名、西三河地域4名となっています。特に設楽ダムの水を享受する下流地域から28名(82.4%)の参加がありました。

No.	項目	回答数	%
1	豊橋市	15	44.1
2	蒲郡市	7	20.6
3	豊川市	5	14.7
4	幸田町	2	5.9
5	東栄町	1	2.9
6	田原市	1	2.9
7	設楽町	1	2.9
8	岡崎市	1	2.9
9	安城市	1	2.9
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q2 あなたの性別を教えてください。

参加者の男女の構成は、男性25名、女性9名と、男女7:3の割合でした。

No.	項目	回答数	%
1	男性	25	73.5
2	女性	9	26.5
	無回答	0	0.0
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q3 あなたの年齢を教えてください。

参加者の年齢をみると、50歳以上が29名(85.3%)と大半を占め、特に60歳代が14名(41.2%)と多くの参加をいただきました。

Q4 あなたの職業を教えてください。

参加者の職業をみると、会社員が19名と半数以上を占めており、続いて公務員(4名)のほか、専業主婦(4名)の参加もいただいております。

No.	項目	回答数	%
1	農林水産業	0	0.0
2	会社員	19	55.9
3	自営業	2	5.9
4	公務員	4	11.8
5	教員	1	2.9
6	専業主婦	4	11.8
7	パート・アルバイト	0	0.0
8	児童・生徒・学生	0	0.0
9	無職	1	2.9
10	その他	3	8.8
	無回答	0	0.0
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q5 今回のツアーの開催情報はどこで知りましたか。

今回のツアー開催情報の入手先を尋ねると、「チラシ」(13名)による広報手段が多くみられますが、「口コミ(誘われて)」(9名)や「事務局からの案内」(7名)などの回答も多くみられました。

No.	項目	回答数	%
1	チラシ	13	38.2
2	インターネットのホームページ	0	0.0
3	口コミで(誘われて)	9	26.5
4	その他	12	35.3
	無回答	0	0.0
	合計(有効回答数)	34	100.0

※その他：事務局からの案内7名、勤務先からの案内2名

Q6 このツアーに参加した理由は何ですか。(いくつかでも)

参加者のツアー動機をみると、「設楽ダム建設事業の全体の説明が聞きたかった」(24名)、「ダムサイトの建設地や工事現場に興味があった」(21名)がそれぞれ7割、6割の回答を得ており、設楽ダム建設事業の関心の高さが伺えます。

No.	項目	回答数	%
1	ダムサイトの建設地や工事現場に興味があった	21	61.8
2	設楽ダム周辺で作られる付替道路等の大規模構造物に興味があった	6	17.6
3	設楽ダム水没予定地の集落跡地に興味があった	8	23.5
4	設楽ダム周辺で作られる観光施設等に興味があった	6	17.6
5	設楽ダム建設事業の全体の説明が聞きたかった	24	70.6
6	設楽町の自然や観光資源に触れてみたいと思った	9	26.5
7	その他	3	8.8
	無回答	1	2.9
	合計(有効回答数)	34	-

Q7 今回のツアーで、設楽町の訪問場所で印象に残った順を教えてください。

今回のツアーでは、設楽町内では、道の駅建設予定地、設楽町役場、設楽ダム水没地の集落跡地、資材運搬路、付替道路の工事現場、ダムサイト建設地、豊橋鉄道田口線三河田口駅の跡地、アグリステーションなぐら・みのや旅館などの場所を訪問し見学していただきました。

このうち、印象に残った場所として、「ダムサイト建設地の見学」を1位と回答する人が24名と、支持率が最も高いことが分かりました。また、「設楽町役場での説明・見学」、「豊橋鉄道田口線三河田口駅跡地の見学」、「付替道路の工事現場の見学」、「設楽ダム水没予定地の集落跡地の見学」なども第2位・第3位と回答する人が多く、設楽ダム建設事業から水没される地区の跡地まで幅広い関心を集める結果となりました。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	
項目	道の駅建設予定地の見学	設楽町役場での説明・見学	設楽ダム水没予定地の集落跡地の見学	資材運搬路の工事現場の見学	付替道路の工事現場の見学	ダムサイト建設地の見学	豊橋鉄道田口線三河田口駅跡地の見学	アグリステーションなぐら・みのや旅館	
回答数	1位	0	2	2	0	2	24	1	0
	2位	0	8	5	0	6	2	9	2
	3位	5	5	6	2	4	1	5	1
	4位	2	5	5	0	10	1	6	1
	5位	1	4	6	2	4	0	5	5
	6位	7	4	2	4	0	1	3	5
	7位	9	0	1	5	2	0	1	7
	8位	3	1	1	6	1	0	0	3
	無回答	7	5	6	15	5	5	4	10
合計(有効回答数)	34	34	34	34	34	34	34	34	
%	1位	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	70.6	2.9	0.0
	2位	0.0	23.5	14.7	0.0	17.6	5.9	26.5	5.9
	3位	14.7	14.7	17.6	5.9	11.8	2.9	14.7	2.9
	4位	5.9	14.7	14.7	0.0	29.4	2.9	17.6	2.9
	5位	2.9	11.8	17.6	5.9	11.8	0.0	14.7	14.7
	6位	20.6	11.8	5.9	11.8	0.0	2.9	8.8	14.7
	7位	26.5	0.0	2.9	14.7	5.9	0.0	2.9	20.6
	8位	8.8	2.9	2.9	17.6	2.9	0.0	0.0	8.8
	無回答	20.6	14.7	17.6	44.1	14.7	14.7	11.8	29.4
合計(有効回答数)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

Q8 今回のツアーでは、ツアー参加費と集合場所までの往復交通費以外に、どこでどんな出費(金額)をしましたか。

参加者のツアー中の消費行動は、主にお土産代への出費が中心であることが分かりました。特に、アグリステーションなぐらで消費した人(22名)のうち14名がお土産を購入しており、設楽町名倉地区に総額42,970円の経済効果がありました。また、もつくる新城でも11名の方が総額16,030円を消費しており、本ツアーでは合計61,300円の経済効果が生まれました。

■ツアーでの出費の内容(複数回答)

No.	1	2	3	4	
項目	ファミリーマート・八雲苑	アグリステーションなぐら	もつくる新城	その他	
回答数	お土産代	0	14	3	1
	飲食代	0	4	3	0
	その他	0	5	3	0
	無回答	34	13	25	33
	計	34	34	34	34
%	お土産代	0.0	41.2	8.8	2.9
	飲食代	0.0	11.8	8.8	0.0
	その他	0.0	14.7	8.8	0.0
	無回答	100.0	38.2	73.5	97.1
	計	-	-	-	-

■アグリステーションなぐらでの出費額

項目	回答数	%
500円未満	3	13.6
500円～1000円未満	5	22.7
1000円～2000円未満	6	27.3
2000円～5000円未満	6	27.3
5000円以上	2	9.1
合計(有効回答数)	22	100.0
総額	42,970 円	

■もつくる新城での出費額

項目	回答数	%
500円未満	3	27.3
500円～1000円未満	1	9.1
1000円～2000円未満	4	36.4
2000円～5000円未満	3	27.3
合計(有効回答数)	11	100.0
総額	16,030 円	

■その他での出費額

項目	回答数	%
2000円～5000円未満	1	100.0
合計(有効回答数)	1	100.0
総額	2,300 円	

Q 9 本日のツアーに満足されましたか。

ツアー参加者の満足度をみると、「満足した」が25名、「やや満足した」が9名と、参加者34名全員から満足との非常に高い評価をいただきました。

No.	項目	回答数	%
1	満足した	25	73.5
2	やや満足した	9	26.5
3	やや不満足	0	0.0
4	不満足	0	0.0
5	わからない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q 10 Q 9の理由を記入してください。

ツアー参加者の満足度の理由(自由記述27名)をまとめると、「普段は入れない設楽ダム建設現場をみれたこと」(9名)などのプレミアム的な要素や、「工事の進捗や構造物の大きさを実感できた」(8名)などの体験的な要素が、高い評価につながっているといます。さらに、「視察先での説明がよかった」(6名)「地元の熱意があった」(2名)などの案内ガイド的な役割も、ツアーを実施する上で重要な要素であると思われます。

普段入れない設楽ダム建設現場をみれたこと	9
工事の進捗や構造物の大きさを実感できた	8
視察先での説明がよかった	6
地元の熱意が分かった	2
その他	2
回答数	27

Q 11 本日のツアーでは、参加費として昼食代をご負担頂きました。(その他の費用は無料)。今回と同程度のバスツアーの参加費として、食事代を除いて、お一人様(大人)いくら位を支払う価値があると思いますか。

今回のツアーでは、食費代を除いて無料とさせていただきましたが、同程度のツアー内容に対して、参加者が支払っても良い妥当な金額は、「3,000円程度」が最も多く、全体の59%の支持率でした。また、「5,000円程度」も32%を占めており、おおむね3,000円～5,000円が、参加者からみた妥当な参加金額であると思われます。

No.	項目	回答数	%
1	3,000円程度	20	58.8
2	5,000円程度	11	32.4
3	7,000円程度	2	5.9
4	9,000円程度	0	0.0
5	10,000円以上	0	0.0
	無回答	1	2.9
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q 12 今後、本日のような設楽ダムに関わるツアー企画があれば、参加したいですか。

ツアー参加者の今後の参加意向をみると、「是非参加したい」が10名、「都合が合えば参加したい」が22名と、参加希望者が全体の94%を占めるなど、参加者のほとんどの方がツアーのリピーターとなる期待もてる結果となりました。

No.	項目	回答数	%
1	是非参加したい	10	29.4
2	都合が合えば参加したい	22	64.7
3	あまり参加したくない	0	0.0
4	参加したくない	0	0.0
5	わからない	2	5.9
	無回答	0	0.0
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q13 今後、本日のような設楽ダムに関わるツアー企画があれば、家族や知人等知り合いに参加させたいですか。

ツアー参加者に、今後同様なツアー企画があれば、知り合いに参加させる可能性があるかを尋ねると、88%の参加者から「参加させたい」との回答をいただきました。将来にわたって、潜在的な参加者の見込みが期待できるツアーの内容であったとうかがえます。

No.	項目	回答数	%
1	是非参加させたい	4	11.8
2	都合が合えば参加させたい	26	76.5
3	あまり参加させたくない	0	0.0
4	参加させたくない	0	0.0
5	わからない	4	11.8
	無回答	0	0.0
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q14 今回のツアーをご自身のホームページ・ブログ・SNS等で情報発信するお考えはありますか。

ツアー参加者に、今回のツアーを自分の SNS 等で情報発信する可能性があるかを尋ねると、7名の方から「する」と回答をいただきました。今回のツアーで設楽町や設楽ダムを参加された方がそれぞれで PR していただき、設楽町に多くの方にお越しいただくことにもつながっていく期待が持てる結果となりました。

No.	項目	回答数	%
1	する	7	20.6
2	しない	25	73.5
	無回答	2	5.9
	合計(有効回答数)	34	100.0

Q15 Q14で「1する」を回答した人は、どの視察場所を情報発信しようとお考えですか。(いくつでも)

今回のツアーを自分の SNS 等で情報発信すると回答した7名の方が、どの視察場所を情報発信しようと考えているかを尋ねると、「ダムサイト建設地」が6名と最も多い結果となりました。また、「豊橋鉄道田口線三河田口駅跡地」「ダム水没予定地の集落跡地」などの回答も多くみられました。ダムサイトを中心とした工事現場や、水没される地区の跡地など

を新たな観光資源として見せる工夫をすることで、来訪者の多くが設楽ダムをPRし、設楽町への集客効果につながるとうかがえる結果となりました。

No.	項目	回答数	%
1	道の駅等建設予定地	1	14.3
2	設楽町役場	1	14.3
3	ダム水没予定地の集落跡地	2	28.6
4	資材搬入路の工事現場	1	14.3
5	付替道路(橋梁)の工事現場	2	28.6
6	ダムサイト建設地	6	85.7
7	豊橋鉄道田口線三河田口駅跡地	3	42.9
8	昼食(みのや旅館)の献立	2	28.6
9	アグリステーションなぐら	1	14.3
10	設楽町の自然や観光資源	2	28.6
11	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計(有効回答数)	7	—

Q16 今回のようなツアーにさらに追加したら良いと思う見所や見学・体験メニューがあれば教えてください。

ツアー参加者に、今回のツアーにさらに追加したい見学・体験メニュー(自由記述10名)を尋ねると、「設楽町の自然や文化ツアー」(5名)の要望が多い結果となりました。清崎地区で建設される(仮称)歴史民俗資料館や道の駅などで、こうした要望に対応したメニューをダム建設ツアーに盛り込むことで、集客力向上につながるものとして、重要と思われます。

設楽町の自然や文化ツアー ・田口駅、田峰観音、花まつりを盛り込んだ一泊二日のツアー ・ウォーキング(日帰り) ・寒狭川で遊ぶ ・特産品のグルメツアー(お酒も)、等	5
年々様変わりするダム建設ツアーの継続	2
リニア新幹線工事など長野県境とのツアー	1
その他	2
回答数	10